

## 令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

令和4年度配分総額：57,761千円

(単位：千円)

No.	活用内容	説明	総事業費
1	保育園等の副食費を全額補助	コロナ禍における就労状況の変化から、保育所等の副食費（1月あたり4,500円）を全額補助することで、保護者の経済的負担を軽減しました。	941
2	高等学校・大学等への通学費を全額補助	コロナ禍における就労状況の変化から、高等学校等への通学費を全額補助することで、保護者の経済的負担を軽減しました。 対象生徒・学生数：77人	6,140
3	小・中学校給食費の全額補助	コロナ禍における就労状況の変化から、小・中学校の給食費（小学生1月・1人あたり4,400円、中学生1月・1人あたり5,000円）を全額補助することで、保護者の経済的負担を軽減しました。	10,657
4	タブレット端末の購入費を補助	神奈川県において、ウィズコロナ下での教育推進のため、令和4年度から高等学校に入学する生徒を対象に、タブレット端末等を各家庭で購入するよう求められたことから、購入費の1/2を補助し、保護者の負担軽減を図りました。	376
5	福祉給食サービスの利用料を補助	村社会福祉協議会が実施する福祉給食サービスの利用料の自己負担分を全額補助することで、物価高騰等に直面する高齢者等を支援しました。	597
6	小・中学校の修学旅行費を補助	村立小・中学校における修学旅行費の一部（小学生1人あたり10,000円、中学生1人あたり5,000円）を補助することで、物価高騰等に直面する保護者を支援しました。	505
7	小・中学校に無線LAN環境を整備	コロナ禍における安全・安心な教育環境の確保と、ICT教育の更なる推進のため、村立小・中学校に無線LAN環境を整備し、通信環境の向上を図りました。	3,630

(単位：千円)

No.	活用内容	説明	総事業費
8	きよかわ元気応援券(第3弾・第4弾)の配布	コロナ禍における物価高騰に直面している村民や村内事業者に対する支援として、地域限定商品券を配布し、地域経済の活性化を図りました。	15,250
9	上下水道料金の減免	コロナ禍における物価高騰に直面している村民及び村内事業者に対し、上下水道料金(7月・9月・11月・1月・3月検針分)の30%を減免しました。	19,236
10	「別所の湯」における感染症対策	村営公衆浴場施設(ふれあいセンター「別所の湯」)に空気清浄機やサーモグラフィカメラ等を設置し、利用者の安全・安心を確保したほか、感染症拡大の影響により低迷している利用率の回復のため、Wi-Fiアクセスポイントを設置し、利便性・快適性の向上を図りました。	2,394
11	高齢者のインフルエンザ予防接種費用を補助	高齢者の季節性インフルエンザ予防接種を促進し、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの併発による重症化を防ぐため、高齢者の予防接種に係る自己負担額の一部を補助しました。	4,133
12	医療機関等の光熱費を補助	コロナ禍における物価高騰等に直面する医療機関への支援として、光熱費等の上昇分を補助しました。	550
13	畜産業者等の電気料金を補助	コロナ禍における物価高騰等に直面する畜産業者への支援として、電気料金の上昇分を補助しました。	1,506
合 計			65,915

※総事業費は、計画段階での金額を記載しています。